

高効率空調・コジェネ
導入による削減コストを
温浴施設リニューアルに再投資

ツルカメO&E株式会社



事業者概要

事業者 : ツルカメO&E株式会社

設立 : 1974年(昭和49年)11月22日

資本金 : 3,000万円

代表者 : 須賀 豊

事業内容 : 公衆浴場・温浴施設の経営および経営の請負

【本社】

香川県高松市円座町1060番地

【大阪オフィス】

大阪府大阪市中央区久太郎町3丁目2番地15号

事業者沿革

昭和49年	株式会社四国ツルカメ 設立
平成元年	香川県高松市にて、『天然温泉スパ YOU YOU』 オープン 高知県高知市にて、『リフレッシュステーション 桜の湯』 オープン
平成14年	大阪府河内長野市にて、『風の湯 河内長野店』 オープン 大阪府東大阪市にて、『風の湯 新石切店』 オープン
平成16年	社名をツルカメO&E株式会社へ変更
平成17年	大阪府八尾市にて、『源気温泉 八尾おゆば』 運営協力
平成18年	佐賀県吉野ヶ里町にて、全国で例のない温泉施設初の設計会社 & 運営会社による提案においてプレゼンテーション第1位 獲得
平成24年	(株)オージーキャピタルより『源気温泉 万博おゆば』、 『源気温泉 八尾おゆば』をM&Aで買収 直営施設に
平成26年	中華人民共和国 黒竜江省齊齊哈爾にて 新設温浴施設の開業準備業務 受託

事業内容

■ Operation

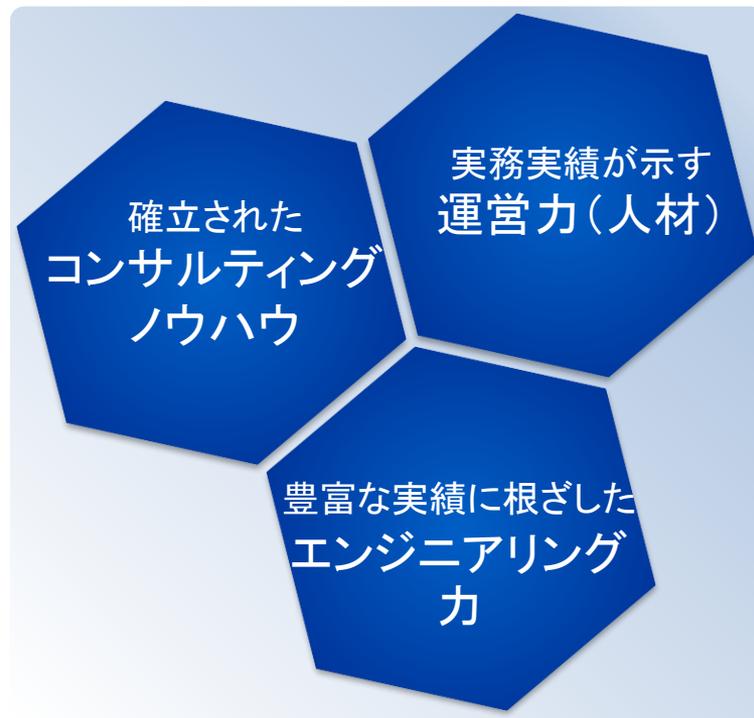
温浴施設の運営管理

■ Engineering

設備面の執務能力を生かした
安心・安全な温浴施設運営への提案

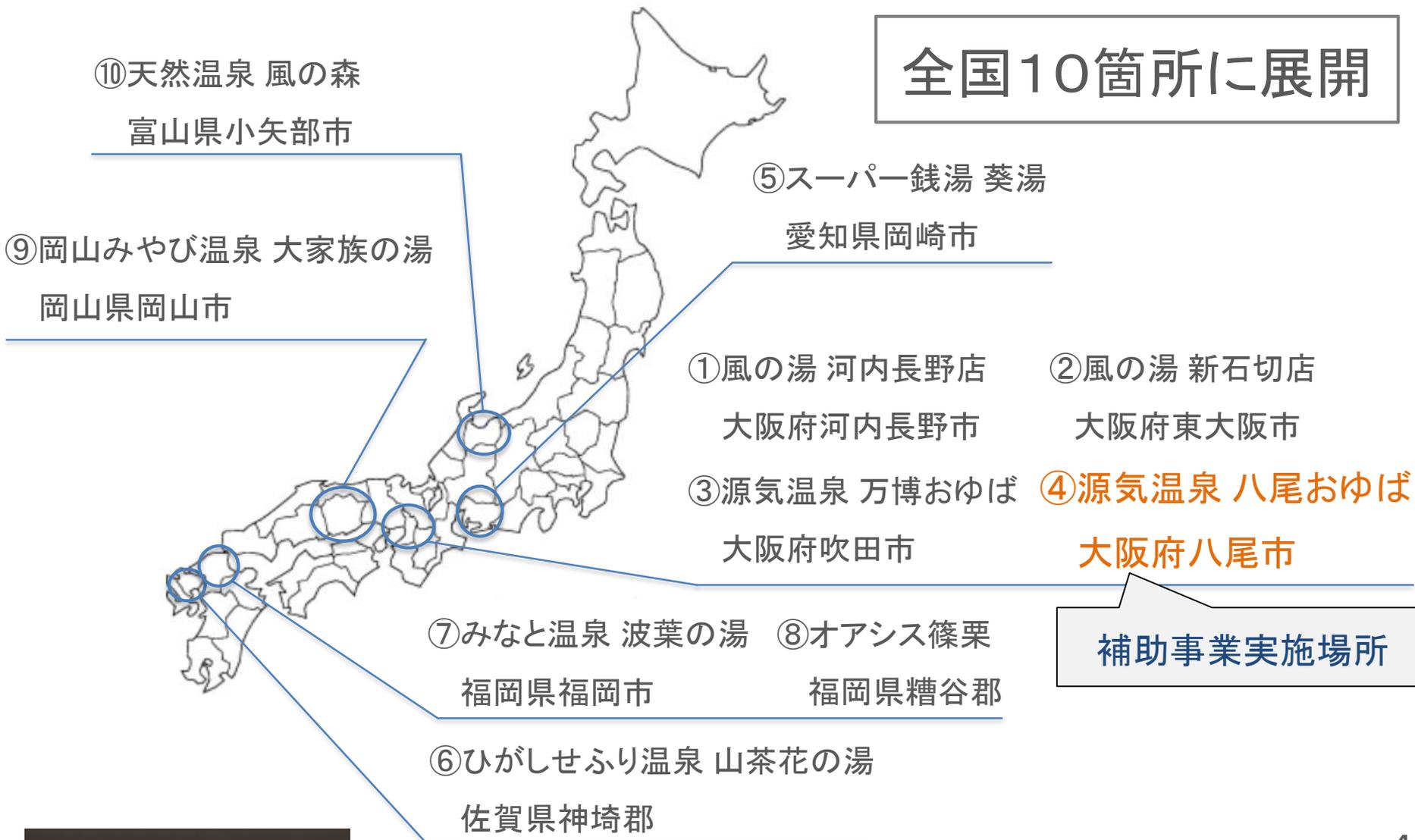
■ Consulting & Solution

新規開業のコンサルティングから運営受託



温浴運営施設

全国10箇所に展開



環境等への取り組み

■環境負荷の低い電力への切替

2016年に、電力契約先を大手電力会社から
環境負荷の低い天然ガスが主力の新電力会社へ切替



■地産地消・環境保全への取り組み

農産物直売所を併設した
温浴施設(アグリ・スパ)を展開
地元農家と住民の皆様のつながり作りに貢献



今回補助金の活用を行った事業所概要

事業所名 : 源気温泉 八尾おゆば

源気温泉
八尾おゆば

事業実施場所 : 大阪府八尾市

近鉄大阪線高安駅から徒歩5分

営業時間 : 午前10:00～翌午前1:00

館内設備 : 大露天風呂、内湯(炭酸泉等)、サウナ、食事処等



本補助金への申請経緯

ステップ1

ランニングコストに占める割合が大きい電気代や水道代、ガス代の削減を日頃より検討していた。



ステップ2

付き合いがあるエネルギー系リース会社から当該補助金の紹介を受ける。



ステップ3

設備更新に対して二の足を踏んでいたが、補助金活用の後押しにより、設備更新を決定した。

※補助金活用によって社内投資判断基準年である3年を下回った。



ステップ4

申請が簡単に行える「区分Ⅱ 設備単位」へリース会社と共同申請を行った。

補助事業概要

補助事業名	源気温泉 八尾おゆばの 省エネルギー化事業
補助事業の実施年度	平成30年度
補助金名称	エネルギー使用合理化等事業者支援事業 (区分Ⅱ 設備単位)
補助対象経費	2,190万円
補助金額	730万円
導入設備	<高効率空調> ガスヒートポンプエアコン 6台 <高効率コージェネレーション> ガスエンジン方式 2台

導入設備の概要

①ガスヒートポンプエアコン



種別	ガスヒートポンプエアコン 冷房能力が56kW以上
要件	<APFp> 1.70以上
性能値	1.91

②高効率コージェネレーション



種別	高効率コージェネレーション	
要件	<総合効率> 82%以上	<発電効率> 41%以上
性能値	85.5%	33.5%



既存設備を高効率設備に更新

※主な設備の性能値

導入設備の使用用途

①ガスヒートポンプエアコン

レストランや脱衣室、エントランス等に利用

②高効率コージェネレーション

貯湯槽の加熱とポンプや電灯等への給電に利用

①ガスヒートポンプエアコン

↓ 温冷風



レストラン



エントランス

②高効率コージェネレーション

↓ 加熱 ↓ 給電 ↓



貯湯槽



ポンプ



電灯等

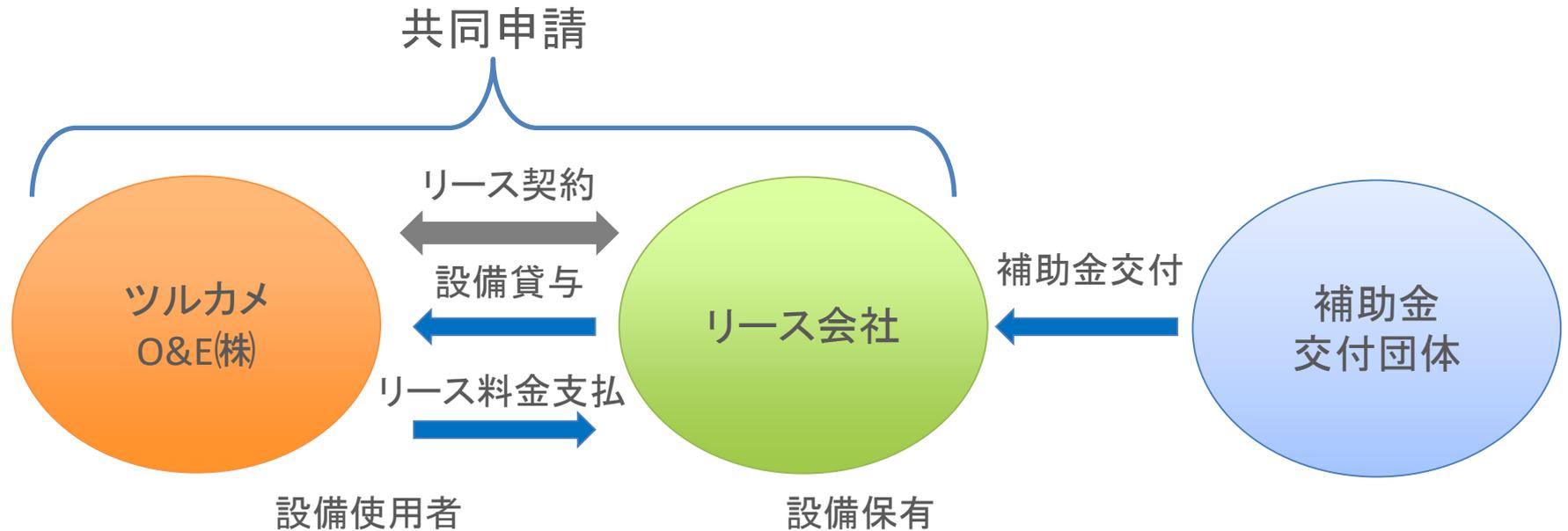
省エネルギー効果

■ 電力使用量とガス使用量を大幅に削減

事業実施前 エネルギー使用量	計画 省エネルギー量	実績 省エネルギー量
86.1 kl/年	14.9 kl/年 (省エネ率 17.3%)	31.2 kl/年 (省エネ率 36.3%)

前年同月と比べ、
電気代最大約40%削減、ガス代最大約25%削減

その他効果①



→ リース会社との共同申請スキームを活用したことにより
想像以上に補助金申請の負担が低いものだった。

その他効果②

■ 機会損失の最小化

リース会社との入念な打ち合わせにより
設備更新を1日休館で実施し、機会損失を最小限にできた。

■ 温浴施設リニューアルに再投資

コスト削減費を基に、温浴施設をリニューアルした。

- ・露天風呂へのホワイティオンバス導入
- ・脱衣室およびフロアのクロス張替え等

お客様満足度向上につながり
前年同月比入場者数**105%**へ



今後の取り組み

①他の温浴施設の高効率設備への更新

⇒高効率設備更新のタイミングで補助金の活用も検討

②省エネの改善余地が残る設備の検討

⇒設備ごとのエネルギー使用状況を精査し、

省エネが可能となる設備について更新計画を策定



省エネを切り口に

お客様へ更なる快適な空間の提供と地域活性化を推進

ご清聴ありがとうございました

